

神奈川県民協議会だより

こぶし



区の木：こぶし

No. 12

平成21年5月

編集・発行 神奈川県民協議会
事務局 神奈川県役所区政推進課
神奈川県広台太田町3-8
電話 411-7021
FAX 314-8890



第15期神奈川県民協議会は、「手をつなぎ やさしく住みよい まちづくり」をテーマに活動を始めています。部会活動、「地域のつどい」、ホームページなどについてお知らせします。

平成21年度

区民のつどい開催

区民協議会主催の今回のつどいは、日ごろの部会活動も含めた区民協議会の全体的な活動、そして先ごろ立ち上げたホームページのことなどを分かりやすく紹介します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

第1部 手をつなぎ やさしく住みよい まちづくり
～神奈川県民協議会の活動紹介～

第2部 聴いて、歌ってみんな元気に！

大口台小学校合唱部 ベルフラワー コール・ダンヘル男声合唱団

▲日時 6月27日(土) 12時30分～15時(12時開場)

▲場所 神奈川公会堂

▲対象 区内在住・在勤・在学者

▲定員 400名(手話通訳付き)

▲申込 当日直接会場へお越し下さい。

※一時保育利用の場合は事務局への事前予約が必要です。



当日、苗木の配布、区内産の野菜の販売もあります。配布や購入を希望される方は、なるべくエコバッグなどをご持参下さい。



ホームページの開設について

国内全世帯におけるパソコンの普及率が70%を超えた現在、神奈川県民協議会においてもそろそろホームページが必要なのは、との意見が聞かれるようになりました。

そこで、平成19年夏ごろから区民協議会有志が集まり、ホームページの立ち上げに向けて必要な準備を始め、漸く平成21年5月、公開にこぎつけた次第です。

神奈川県は、横浜市内でも古くから開けた地であり、連合町内会が地域組織としてしっかりと生活網を維持しています。しかしこれに、現在就労中の世代や、区内に就学中或いは子育て中の若い世代の人々の関わりが得られたなら、区民協議会の活動は一層活性化し、様々なニーズに応えられる有効なものとして活用されるようになると思われます。このためにも、ホームページの公開は欠くことのできないものと考え、皆さまに区民協議会の活動を知っていただくことを第一にホームページを作成しました。

ホームページでは、それぞれ特色のある4部会の活動を中心に、区長との懇談会や、施設見学会などの具体的な行動を通して、自分達の暮らしを自分達自身の手で快適なものにするために活動している区民協議会の活動の様子を写真入りで公開。自主自立の区民活動として持つ30余年の歴史が分かる30周年記念誌「あゆみ」や、広報誌「こぶし」の紙面も掲載しています。是非一度、神奈川県民協議会ホームページをご覧ください。

<http://42.tok2.com/kanagawakumin/>
(「神奈川県民協議会」で検索してください。)



今年5月開設された
神奈川県民協議会
のホームページ

ただ今、活動中！

文化・教育部会

安心し子育てできる神奈川区

乳幼児を抱えながらも働かなければならない家庭にとって必要な保育環境をテーマとしました。区内の保育施設は特認可保育所、届出済認可外保育室、横浜保育室、家庭保育福祉員があり、それぞれの違いや特徴を勉強します。また、地域別の乳幼児人数、最寄り駅の利用人数を勘案し、利用しやすい場所に確保されているかを調査したり、各施設を見学し現状の把握を行う予定です。待機児童が少なくなるような、そして産後から安心して乳幼児を預けることができる体制について、提言していくことを目標としています。



都市・環境部会

きれいな町・利便性の良い環境となるまちづくり

駅周辺にある「放置自転車等禁止区域」内の放置自転車等の移動台数の多い中で、前々からその数が著しい4駅（白楽・東神奈川・大口・新子安）と横浜駅西口の一部を調査し、どうしたら台数を減らすことができるかを「区民の目線」で考えようと活動しています。部会員が撮影した現状の写真を部会で見ながら意見を交換し、その上で駅ごとに状況が異なるため、その駅に合う対処方法を提案したいと考えます。短期間では結論が出ないことが推測できますので、長期戦で対応したいと考えます。



防犯・防災部会

犯罪・災害から身を守るA・B・Cを広く知らせよう

区民生活の安全・安心な環境を目指し、2年間のうち1年目は防犯を主眼として活動します。

1. 各地域における犯罪発生状況を知ろう。
2. 各地域の防犯活動の実情を知ろう。
3. 行政及び警察署の防犯活動を知ろう。
4. 防犯活動のあり方を地域に発信しよう。
5. 提言・実行をしよう。



福祉部会

手をつなぎ、広げよう、福祉の輪

平成19年5月より、他の区に先駆けて市とも打ち合わせをして「介護ボランティア・ポイント制度」を提案し続け、その中心的役割を果たしてきました。

このほど、横浜市の「高齢者保険福祉・介護保険事業計画」として実施が決まり、高齢者が介護保険施設などでボランティア活動を行った場合に、活動実績を「ポイント」として評価し、たまったポイントに応じて還元できる仕組みが試行されることになったことは、すでに各新聞に取上げられたとおりです。今後は、制度の本格的な実施に向け課題を提案しながら、引き続き活動していきます。

他に、災害時の要援護者支援対策と、地域ケアプラザの新設の推進を提案していきます。



ごあいさつ

神奈川区民協議会 代表委員 佐藤 潮

区民の皆さまには、日ごろから区民協議会活動にご支援ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。この度、区民協議会広報誌「こぶし」の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

第15期神奈川区民協議会（以下、区民協と称す）は、各自治会町内会、各種区民団体、一般公募の総勢76名で活動しています。

区民協は、発足以来35年目を迎えました。この間、区民のご意見を行政へ提案・提言してきましたが、昨今の社会情勢や生活環境の変化と、住民のライフスタイルの多様化に伴い、次のような課題が生じています。

①区民協の知名度・認知度の低さ、②委員の減少傾向、③検討課題のマンネリ化

このような課題を抱えながら、4つの部会が自分達の足元にあるような身近な問題を取り上げ、これらの具体化をめざし、皆さま方が「住んでよかった」と思う町にできれば、と思っています。

今後とも皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



神奈川区長との懇談会

3月3日(火)、午後1時30分から3時まで、区役所4階会議室において、区民協議会運営委員会と神奈川区長との懇談会を持ちました。

始めに、各部長から第15期のこれまでの活動の経過を報告、このほか2月に開かれた六角橋地区での地域のつどいの様子、区民協議会あり方検討委員会の動きなどを説明しながら、区民協議会として区行政に対してアピールしたいこと、望むこと、そして、ともに協力して活動できることなどを話し合いました。

この中で、まず福祉部会からは、介護支援ボランティアのポイント制導入への取り組みについて、今年10月から始められる全市的な試行を踏まえ、そのきっかけとなった部会の活動が報告されました。このほか、区北部地域に新たな地域ケアプラザの建設をめざしていること、緊急時における要介護者対策、そしてその際支援できそうな方の登録制の導入などを模索することなどが報告されました。

次に、防犯・防災部会から、各地域で独自の取り組みをしている中で部会としての活動を考えていくために、犯罪統計の活用と各自治会町内会への防犯に関するアンケート調査の実施を準備していることが報告されました。

また、都市・環境部会からは、区内にある主要駅周辺の放置二輪車の問題について継続的に調査集計活動をしていること、そこで痛感されるなかなか減らない違法駐輪と、駐輪場の絶対的な不足について、これを解消するためには鉄道事業者などの民間への協力要請と、区としての土地の確保活用が重要であることが報告されました。

続いて、文化・教育部会から、保育所・保育園に関する問題を取り上げていくにあたり、保育園の保育態勢の現状と課題、増加する待機乳幼児の現状とその解消に向けて提言をめざすことが報告されました。

その後、区長から、市内に数ある区民会議（区民協議会）の中でも現行の神奈川区は地域との連携を強く保ちながら生活に密着したレベルで有効な提言を行っており、区としても大いに活用していきたい旨の話があり、近々立ち上げ予定のホームページについても区として、適切な支援をしていく考えが明らかにされました。

区長との懇談会は3回を数えましたが、今回も内容の濃い論議をすることができ、今後の各部会の活動にも活かしていくことができるのではないかと話し合いつつ散会しました。



地域の皆さんの協力で「地域のつどい」を開催しました

六角橋地区

テーマ ルールを守って、きれいな住みよい町に

開催日 平成21年2月22日（日）

場 所 六角橋北町自治会館

参加者 90名

区民協議会と六角橋自治連合会との共催で、場内は立錐の余地もない、満席の状態で行われました。挨拶の後、当協議会副代表委員より、区民協議会の概況がスクリーンを使って説明されました。行政からは資源循環局神奈川事務所、神奈川区区政推進課他が参加し、神奈川大学も参加しました。今回も、区民から意見が出されるとともに、区役所から「ご意見」の用紙が全員に配布され、住所・氏名を記入のうえ意見を提出すれば区が回答をする、という方式で行いました。

発言された中には、「ごみ出しの仕方」について一層の啓発活動が必要、との意見が見られました。大学があり、集合住宅が多いこの地域の特異性もあって、収集曜日や時間帯の問題も含め、今回のつどいのテーマである「ルールを守って、きれいな住みよい町に」の実現の難しさが浮き彫りになりました。参加者からは、「大学の参加を得られたことは良かった」、「行政・地域と区民協議会とが連携・協働して行くことが大切である」などの意見が出されました。



青木第二地区

テーマ 地域の防災について ～みんなで安全、安心なまちづくり～

開催日 平成21年3月16日（月）

場 所 神奈川韓国会館

参加者 102名

区民協の代表者5名、行政側より副区長をはじめ7名及び地域住民約100名の出席のもとで、いざという時に落ち着いて行動が出来るよう、日頃から防災について正しい知識と心構えを身につけるために「地域の防災について」をテーマとして話し合いました。

区民協代表委員及び連合町内会長の挨拶、区民協議会の紹介、区民協防犯・防災部会長より災害に対するイメージトレーニングの一手法の紹介につづき、青木第二地区各自治会・町内会長より各地域の防災活動の実態が報告されました。その後、防災活動に積極的に取り組んでいる大口仲町第二親和会の活動事例の発表があり、その組織的及び適切な活動には感心させられました。

その後話し合いが行われ、災害が起きた時のために常日頃より、地域住民の主体性、協力が必要であることを再認識しました。まとめとして神奈川区総務課庶務係より、行政の防災計画及び防災に関する地域支援事業、今年度の取り組み等の紹介がありました。

地域住民から、このような会は有効であるので今後頻繁に開催したい、との声が多く聞かれました。



区民会議交流会が開催されました

平成20年11月10日（月）、第34回区民会議交流会が、横浜市技能文化会館で、「区民会議のあり方」をテーマに、「区民会議は何のためにあるか、何ができるか、どう行動したらよいか」をサブテーマに開催されました。

当日は、市内各区の総勢200余名の委員が、同じテーマについて5会場に分散し、最初に1時間程度熱い意見を出し合い、その後、そこで出た意見を集約後、交流会の実行委員の2名と中田横浜市長・コーディネーター（内海氏）の4名でのパネルディスカッションが行われました。

区民会議は、発足当時（昭和49年）から、区民が自主的・主体的に運営する区民相互の話し合いの場という形態は変わっていませんが、これまでは行政への要望・陳情という色彩が強いものでした。しかし、区（行政）の取り組む事業内容において区民との距離が縮まってきたので、区民と協働することが増え、今までのようなあり方（行政への要望・陳情）だけではなく、現状に合わせた区民会議にならなくてはいけないとのことから、今回のテーマになりました。

この交流会に参加したことで、各区の様々な実情を聞き、今後の方向性を考える良い機会になりました。交流会では、以下の3点について、突っ込んだ話し合いが行われました。

①現在の各区民会議の活動状況

各区で年に1度の「区民のつどい」、年に複数か所において「地域のつどい」を開催し、直接区民の声を吸収し、それを生かしていきます。各つどいでの意見・要望を精査し、部会・分科会等が汗を掻く調査活動等により行政等へ提案・提言（できるだけ「具現化し得る」内容）していきます。定期的な活動報告の情報誌を発行、ホームページの開設を行って情報発信をしていきます。

②地域との関係、他団体や行政との関係をどう築くか

「地域のつどい」を自治会町内会と共催していることを重要視している区民会議もありますが、現状は自治会町内会があまり積極的ではないので、今後、つどいの見直しと、連合町内会も含めた自治会町内会との関係を改めて考えてみる事が議論されました。



③区民会議の役割をどのように考えるのか

区民が安全で、安心して生活できる環境を作ることに貢献することを第一とし、区民会議でなければならないことを考え実行していけばよいのではないかと。我々の行動が自己満足で終わるのではなく、区民の皆さんの立場で「良かった」と認知されることが大事なことであり、との結論を得ました。

第15期・第1回 施設見学会が開催されました

区民の生活を安定的に維持していくために行われている様々な事業や、行政の活動の一端を知り、その後の部会テーマの選択や活動の展開に生かすために、年1回の施設見学会が開催されています。

昨年の施設見学会は12月2日（火）に催され、36名が参加しました。今回は、日産自動車横浜工場、神奈川水再生センター、ハマウイングの3か所を見学しました。

日産自動車横浜工場では、エンジン製作工場の見学等を通して、様々な作業の工夫の仕方、エコに対する取り組みなどを学びました。神奈川水再生センターでは、汚水処理に関して学び、実は東京湾に流れる汚水の70%が家庭排水であると知り、環境のために私たちができることがあるのだと実感しました。ハマウイングでは、夜空にそびえるハマウイングの大きさに圧倒されながら、風力発電の環境に対する効能を学びました。

3か所の見学を通し、環境に対する意識を高く持つ必要性を感じた有意義な施設見学会となりました。



区民協議会って な～に？

神奈川区民協議会
は、もっと住
みよいまちづ
くりを目指して
区民同士で話し
合う自主的な団
体です。話し合
いのテーマごと
の部会に分かれ
て、月一程度話
し合いをし、勉
強会、見学や調
査などを行って
います。

区民協議会のしくみ



新たな振り込め詐欺 急増中！

昨年区内において発生した「振り込め詐欺」の被害者は62名で、被害総額は約8,300万円でした。

今後は「定額給付金」に関して、この支給に絡んだ還付金名目、なりすまし詐欺等の犯罪が多発することが予想されます。

定額給付金の支給については・・・

○区・市の職員が電話で連絡することはありません。

○ATMに行くように指示することはありません。

また、キャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることはありません。

【これは十中八九振り込め詐欺！】＝ 具体例 ＝

*今日が支払いの最終日(期限)なので、キャッシュカードを持ってATMに行ってください。

*指定口座に振り込めないで、キャッシュカードを持ってATMに行ってください。

※このほかにも新手の口実で詐欺被害が予想されますので、定額給付金に関して電話連絡があった場合には、横浜市定額給付金専用ダイヤル、または神奈川警察署に直接確認ください。

○横浜市定額給付金専用ダイヤル TEL 330-7222

○神奈川警察署 TEL 441-0110 (代)



神奈川警察署か
らのお願いです。



編集後記

広報誌作成の難しさ及び楽しさを経験させてもらいました。(T.A.)

福祉部会から指名され手伝いました。全てが初めての経験で楽しかったです。(T.K.)

何度やっても、やっぱり広報誌作成は楽しいです!! (M.S.)

文章やレイアウトが難しい。皆が楽しめる「こぶし」にしたいです。(K.T.)

伝えたいことを、文字で表現することは、とても難しいです。(K.M.)

皆でここまで作り上げたことの面白さ、病み付きになりそうです。(M.U.)